

2009年6月30日

各位

オリックス不動産株式会社

『みなとみらいセンタービル』が CASBEE横浜最高位の評価「Sランク」の認証を取得

オリックス不動産株式会社(本社：東京都港区、社長：山谷 佳之)、大和ハウス工業株式会社(本社：大阪府大阪市、社長：村上 健治)、株式会社ケン・コーポレーション(本社：東京都港区、社長：田中 健介)の3社が共同で推進中の『みなとみらいセンタービル』が、建物の環境性能を格付する制度であるCASBEE横浜認証制度で最高位の評価「Sランク」の認証を取得することが決定しましたのでお知らせします。

『みなとみらいセンタービル』は、みなとみらい地区における広い街区を生かし、地域アメニティの向上を目指し計画された、高性能かつ省エネルギー性能の高い事務所と店舗の複合施設です。

環境性能では以下4つの点が評価されました。

地球温暖化対策として、事務所部分のトップライト(天窗)に集光装置(ミラー)、オフィスフロア共用部にエコボイド(吹抜け)を設置し、自然光を床面まで照射できる採光システム(T-soleil)を導入することにより自然エネルギーを利用し、建物内に自然光を取り入れ照明電力の削減を図っていること。また、温冷熱を集中的に製造・供給・管理してエネルギーを効率的に供給する地域冷暖房を導入していること。

ヒートアイランド対策として、屋上や敷地内を緑化し敷地外への熱的な影響を低減、植物への散水には雨水を利用していること。

長寿命化対策として、免震および制震を組み合わせた構造システム(TASMO-HD工法)の導入により建物の耐久性を向上するとともに、ゆとりある執務スペースも確保していること。

街並み・景観への配慮として、みなとみらい21まちづくり基本協定に準拠するとともに、総面積約3,000坪におよぶゆとりある敷地を生かし、800坪の広場を設けることで、開放された憩いの空間を提供していること。また、敷地内から出土したいかりを再生、パブリックアートとして敷地内に設置し、造船所の歴史を継承していること。

オリックス不動産は、今後も環境に配慮したオフィスや住まいなど、環境性能の高い企画を実施していきます。

以上

【お問い合わせ先】

オリックス不動産株式会社 社長室 担当:永井

Tel:03-3435-3411

【ご参考】

「みなとみらいセンタービル」概要

所在地 : 神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目 6-3,4,5,6
交通 : 横浜高速鉄道みなとみらい線「みなとみらい駅」直結
敷地面積 : 10,131.57 m² (3,064.79 坪)
延床面積 : 95,220.30 m² (28,804.14 坪)
階数 : 地下2階・地上21階・塔屋1階【高さ約98.2m】
構造 : 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造【制震+免震構造】
主要用途 : 事務所、店舗、駐車場
施工 : 大成建設株式会社
設計監理 : 大成建設株式会社一級建築士事務所
竣工 : 2010年5月(予定)

みなとみらい21地区は、1980年台初頭に“21世紀にふさわしい未来型都市”構想が掲げられ、独立行政法人都市再生機構(以下、「UR都市機構」)や神奈川県、横浜市などで設立された第三セクターが中心となり、計画的かつ革新的な整備が進められています。総面積約186ヘクタールにおよぶ敷地は、それぞれ「住宅・商業・ホテル」などの用途に指定されております。当該プロジェクト計画地(商業用途)は、2006年5月にUR都市機構より一般公募され、同年7月実施の入札により当共同企業体が落札、同年9月25日付で所有権を取得しております。

多くの方が憩い、交流できるようにパブリック広場と連続した開放的な空間を設計。外観は未来型都市にふさわしいスタイリッシュなデザインとし、周辺デザインとの融合を図っています。

CASBEE(Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency)概要

CASBEE(キャスビー、建築環境総合性能評価システム)は、2001年に国土交通省が主導し、(財)建築環境・省エネルギー機構内に設置された委員会によって開発された建築物の環境性能評価システム。地球環境・周辺環境にいかに関心しているか、ランニングコストに無駄がないか、利用者にとって快適か等の性能を客観的に評価・表示するために使われているもの。評価対象となるのは、日本国内の新築・既存建築物である。

このCASBEEを自治体の地域特性にあわせ、環境配慮を実現するために運用されています。横浜市では、横浜市生活環境の保全等に関する条例を根拠法として、平成17年から「横浜市建築物環境配慮制度」を創設し、「CASBEE横浜」として運用しています。

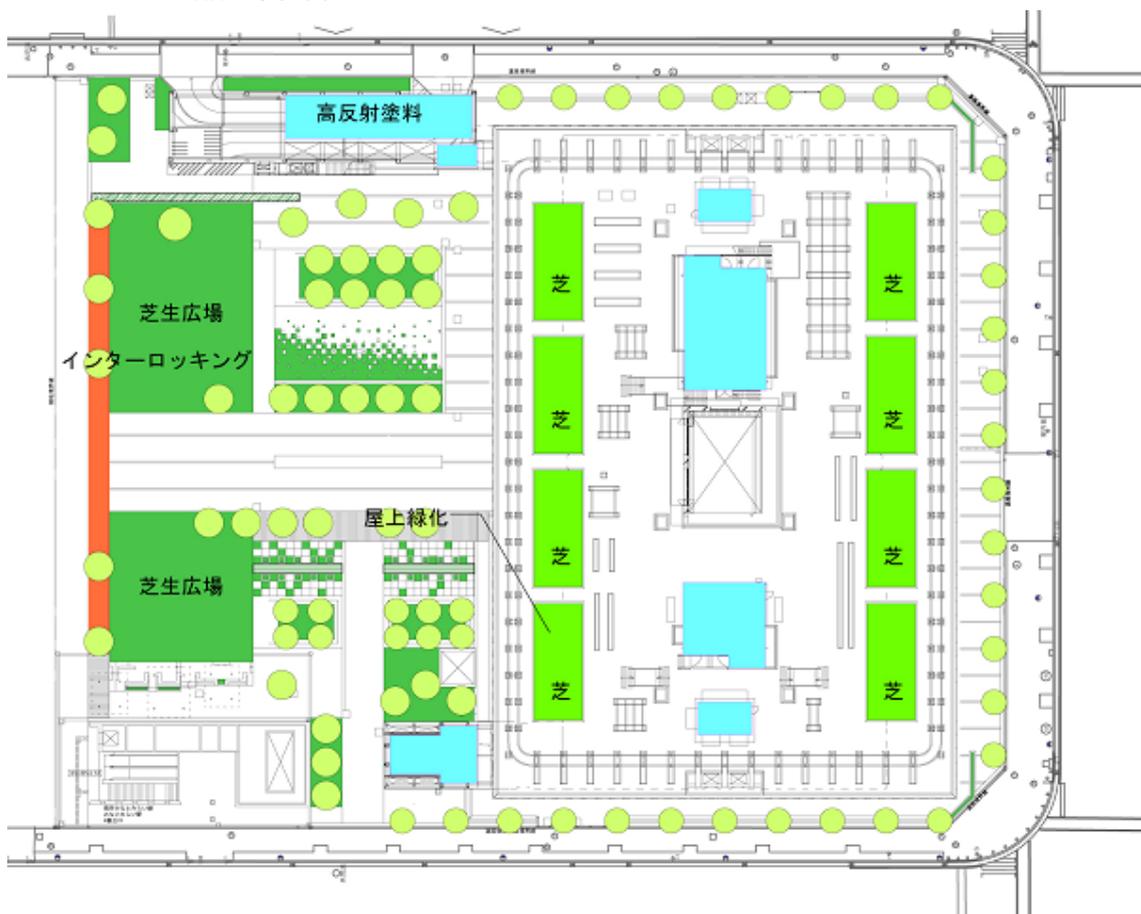
「みなとみらいセンタービル」完成予想図



地図



屋上および敷地内緑化



800坪の広場



構造システム TASMO-HD

免震構造 Base-isolation structure

高い免震効果をもたらす免震システム「ハイブリッドTASS」
An outstandingly effective base-isolation structure "Hybrid TASS".

積層ゴム支承と弾性すべり支承 Laminated rubber supports and flexible sliding supports.



積層ゴム支承 Laminated rubber supports
建物を高周波化し、揺れを穏やかにします。
Lessen vibration by subjecting the building to long cycles.

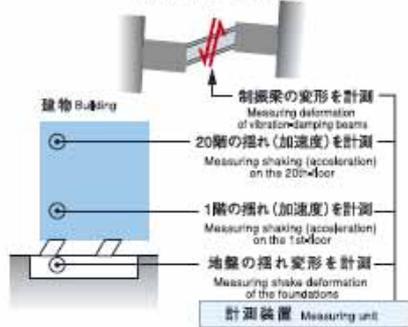
弾性すべり支承 Flexible sliding supports
特定の固有周期がなく、地震力を摩擦によるエネルギーで消費させます。
No specific inherent cycle, and consumes seismic force by energy caused by friction.



制振構造 Vibration-damping structure

地震エネルギーを吸収する
新しい知的制振システム「TASMO」
"TASMO", a new intelligent vibration-damping system that absorbs seismic energy.

24時間365日、常にビルの健全性をモニターする検査システム
A unique system that offers constant, round-the-year monitoring of the soundness of a building.



敷地内から出土したいかりを用いたパブリックアート

